

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年1月7日（16：40～17：16）
1. 初期支援（はじめのかかわり）	メンバー	7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	10人	0人	0人	12人

前回の改善計画	・利用者とコミュニケーションを取り信頼関係を築くと共に、細かな事でも職員間で共有し統一した支援を行う。 ・家族と会う機会が少ないため、連絡帳や電話・手紙・LINEなどを意識的に活用しコミュニケーションを深め信頼関係を築く。
前回の改善計画に対する取組み結果	・適宜関わった職員からの申し送りで細かなことも共有でき統一した支援を行うことができていた。 ・家族との連絡は送迎時や連絡帳の記入・電話・LINEなどを活用し、とま～での様子を知っていただき関係性を深めることができていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4	8	0	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0	11	1	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	0	11	1	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	0	10	2	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用開始前には基本情報をCMから情報発信し共有することができていた。 ・本人・家族・職員共に本人の体力・精神的な面を理解することが難しく本人に負担をかけてしまったが、本人・家族と再度話し合いを行い対応・利用時間の変更を行うことで、本人に無理なく利用していただけている。 ・初期支援時は本人・職員共に戸惑う事柄も多かったが、申し送りなどで細かなことも共有することで行動などを理解することができ、互いに戸惑うことなく過ごすことができています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・家族とのコミュニケーション手段として、緊急性のない事柄についてはLINEでの発信を行っているが、業務を優先してしまいすぐに発信することができていなかった。 ・利用開始後から本人の状態の変化が見られたが、家族が本人の変化に戸惑っている様子があり、それに対して職員が上手くフォローできず家族間にわだかまりが残る状況になっているように感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・家族に本人のとま～での様子（普段の活動や行事など）を知っていただき、関係性を構築できるよう様々なコミュニケーション手段（LINE・連絡帳・電話など）を使用し発信していく。発信する際は、担当者を決め当日中に発信する。 ・家族に病気や現状・今後予想される症状などがわかりやすく伝えられるよう共有し、統一した内容を伝えていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和8年1月7日（17：17～17：55）
-----	-----------------------

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー	8名
------	----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	9人	0人	0人	12人

前回の改善計画	・本人の「～したい」の意向は変化する可能性もあるため、その都度対応できるよう柔軟に計画・実施していく。又、本人の達成感や実施した際の反省点などの評価を行い次回の計画に繋げる。 ・カンファレンス担当者が計画を周知することで、全職員がそれぞれの利用者に統一した支援を行っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・本人の意向を基に計画・実施・評価している。その時々思いが変化してきている利用者もいるが、本人の反応を見ながら必要に応じて計画の見直しを行い対応する事ができていた。 ・ミーティング内容を記録し数日間申し送りなどで確認することで、統一した支援を行う事ができていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	10	1	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	10	1	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	11	0	0	12
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	2	9	1	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人に意図的な質問を行うことで、「～したい」について知ることができ関わる事ができている。 ・本人の意向が変化しても思いを引き出し、アセスメント・ミーティングを行い次の計画を立てることができていた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・「～したい」が明確ではない方に対してのアプローチが上手くできなかった。本人の表情や感情などを確認しタイミングよく話を勧めることができなかった。 ・本人の体調・状態が変化し当初希望していた「～したい」を行うことができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・本人の体調や表情などを確認し、タイミングを見て意図的な（当面の目標が目指せるような）質問で「～したい」に繋がるようなアプローチをしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 8 年 1 月 26 日（16：31～17：31）
3. 日常生活の支援	メンバー	8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	10 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画	・把握している「以前の暮らし方」を自宅での生活環境に繋げるため、できることをどのように継続するかミーティングを行い共有し統一した支援を行う。 ・ミーティングがあった際は申し送り時に内容を確認・共有し、全職員が理由などを理解した上で統一した支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・申し送りやミーティング内容を共有し統一した支援を行うことができている。 ・ミーティング内容を数日間申し送り時に確認することで統一した支援ができていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	2	10	0	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	10	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	10	2	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	9	1	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	9	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の通い利用時に表情や体調・怪我の有無などの共有を職員間でスムーズに行うことができ、その日の注意事項などを確認し統一した支援ができた。 ・利用者の体調や嚥下に合った食事形態を職員・調理員で話し合い調整したり、口腔内の状態を歯科医に相談し調整していただいたりすることでスムーズに食事を摂ることができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・病気や体調の変化などで本人の声にならない声を引き出すことができなかった。 ・普段と体調が異なる利用者をコミュニティプラザで行われる行事に参加させてしまった。すぐに帰って来たが無理をさせてしまった。職員間で本人の体調の共有ができていなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・とま～る内だけではなく環境を変えたり共感できる話題を提供したりして、本人の声にならない声を引き出す。 ・行事参加予定がある際は特に、普段と違う言動・状態などがあればすぐに他職員と共有し、その後利用者が無理なく過ごしていただけるよう努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 8 年 1 月 26 日 (17 : 31～18 : 02)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	11 人	0 人	1 人	12 人

前回の改善計画	・地域住民にとま～る事業のアピールを継続し、とま～るに来所していただける機会をつくる。 ・各地域資源を詳しく知るため、地域の方々とコミュニケーションを取り規定などの内容を聞き取り、本人にとって必要な地域資源を活用することができるよう支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域の方が 1 日利用体験をされたり、夏祭り・大正琴・介護講座などで地域住民にとま～る事業のアピールが出来ていたように感じる。 ・遠方からの通い送迎中のトイレ使用場について、何件かの地域資源に伺うことで関係性を構築することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	11	0	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	12	0	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	9	3	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	10	1	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人や職員からのアイデアで、地域資源や地域の方との関係性を継続することができていた。 ・家族や地域の方が行っていることを継続していただけるよう、バランスをとりながら支援する事ができていた。 ・利用者の得意な事を活かして職員と共同し作品づくりなどをする事で、本人のこれまでの生活スタイルや人間関係の理解を深めることができていた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・村外受診について、新たな地域資源を構築することができなかった。それぞれの地域資源でも人員が不足しており、定期的な受診はもちろん突発的な受診も対応することが難しい状況が続いている。継続して村との協議していかなければならない。 ・利用者によっては本人のこれまでの生活スタイルを把握しきれておらず、上手く地域資源につなげることができない方もいた。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・地域住民や関係機関にとま～るの普段の支援内容や事業のアピールを継続し、とま～るに来所していただける機会をつくる。 ・落ち着いた環境の中で以前の生活スタイルや希望を利用者から聞き取ったり、村やとま～るなどの行事参加の声掛けを行ったりして、地域との関係が切れないよう支援していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年2月4日（16：45～17：27）
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	10人	0人	0人	12人

前回の改善計画	・地域資源の細かな動きを把握するため内部研修にて深掘りしていく。 ・本人・家族のニーズや思いを理解し、地域資源を活用することで本人らしく生活できるよう支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・内部研修で地域資源について、現在活用できている状況や今後活用できそうな内容を話し合うことで理解を深める事ができた。 ・本人・家族のニーズや思いは、コミュニケーションや観察をすることで理解できていた。馴染みの店や近所の方との繋がりが切れないう支援を行うことができていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3	8	1	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	7	5	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	3	9	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	9	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人・家族の思いを伺いながら、通い・訪問・泊まりを柔軟に使い支援することができていた。 ・本人の体調や家族の状況などの変化に応じて、ミーティングで支援の変更を共有することができていた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・現在使用できている地域資源が限られており、多くの資源を使用することができていない。 ・その日の状態変化に対して職員間で上手く共有できず、柔軟に対応することができないこともあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域資源の内部研修を継続し、本人のニーズに合った地域資源の活用を見い出す。 ・都度本人の状態変化に対して自己判断せず共有し、状態にあった支援を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和8年2月4(17:27~18:15)
6. 連携・協働	メンバー	6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	0人	0人	12人

前回の改善計画	・とま〜るイベントや訓練など村関係者にも周知し、多くの方がとま〜るを知っていただけるようにする。 ・地域行事に参加した際には、地域住民と関わりやすいよう座席などを工夫する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・とま〜るのイベントや訓練などの周知を行ったことで、夏祭りや大正琴鑑賞・1日体験見学・社協と共同した介護講座など、とま〜るを知っていただく機会を増やすことができた。 ・地域イベントなどに参加した際、席は空いていなかったり決まっていたことがあり地域住民と関わりやすい座席に座ることが難しかった。しかし、イベントに参加し地域住民と関われるよう移動したり声を掛けたりすることで交流を図ることができていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	1	9	2	0	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	9	1	1	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	6	3	2	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	7	3	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人に変化があった際など、多職種・他機関と密に連絡を取り合うことができていた。 ・他の団体で地域の活動に参加し情報共有することができていた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・イベントや行事などに地域住民が訪れることはあっても、普段気軽に立ち寄れる拠点にはなっていないと感じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200以内)
・とま〜るのイベントや訓練など村関係者への周知を継続し、地域住民が参加できる介護講座を開催し多くの方にとま〜るを知っていただけるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 8 年 2 月 19 日（16：46～17：32）
------------------	-----	------------------------------

7. 運営	メンバー	7 名
-------	------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	7 人	5 人	0 人	12 人

前回の改善計画	- 診療所の待合室でとま～る紹介の画像を流し、地域住民にとま～るを身近に感じていただく。 - 村の関係者に見学などを通して意見を伺い運営に反映していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	- 診療所の待合室にてとま～る紹介の画像を流すことはできたが、地域住民にとま～るを身近に感じていただけのかわからなかった。 - 見学などの働きかけを行っていたが、村の関係者の見学などは少なかったため意見を伺うことができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	3	7	2	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	12	0	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	10	2	0	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか？	0	8	4	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
- 利用者家族や地域の方・運営推進委員からの意見などを運営に反映することができ、広く意見を受け入れることができる体制がとれていると思う。 - 介護講座で地域の方と触れ合うことで、とま～るの認知度などを知ることができた。 - 地域ケア会議の顛末で利用者以外の地域の方の状況を把握し、村関係者とも共有して協働した取り組みを行うことができていた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
- アピールを行っていたが、村の関係者に来所していただくことができなかった。 - 地域の方々にも、地域にとって必要な拠点であることを理解していただけていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
- 村関係者にも来所していただくために、様々なアピール方法を考慮・継続し見学していただけるよう働きかけていく。 - 介護講座などのイベントを継続し多くの地域の方にとま～るを知っていただき、意見などを運営に反映していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 8 年 2 月 19 日 (17 : 58～18 : 35)
27 8. 質を向上するための取組み	メンバー	6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	8 人	0 人	0 人	12 人

前回の改善計画	・利用者の支援を行う際は事前に前回までの記録・状態の確認をする。 ・ミーティング内容を確認する際には、数日間申し送り時に内容を読み上げ理由なども含めた確認を行う。 ・内部研修で自身の支援・行動を客観的に捉えることができるよう支援の振り返りを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者の支援前に記録にて前回までの状態を確認することができていた。 ・数日間、申し送り時にミーティング内容を読み上げ理由なども含めた確認を行うことができていた。 ・内部研修や他の職員の研修報告で内容を共有し、自身の支援を振り返ることができていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	3	9	0	0	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	11	1	0	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	11	0	0	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	12	0	0	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・気になったオンライン研修の受講をすることができた。また、会議で報告し職員間で共有することができた。 ・実際にあったヒヤリハットの内容などをまとめることで、リスクマネジメントに取り組むことができた。また、ヒヤリハットの予測を伝えることで異なった視点を知ることができた。 ・利用者の支援する理由を理解し対応することでリスクマネジメントに取り組んでいた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者への対応方法について情報が引継ぎノートに記載されておらず、全職員に共有できていないことがあった。また、確認もれもあった。 ・新規利用者や状態の変化があった利用者に対して、記録や対応した職員に確認しても認識の共有ができていないことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者の支援を行う際は事前に前日までの引継ぎノートと前回までの記録・状態の確認をする。 ・新規利用者や状態の変化があった利用者に対しての情報は、対応した職員が記録・引継ぎノートに記載する。 ・文章だけのミーティング確認が難しい際には、写真や実物を使い目でも確認ができるようにしていく。また、深く確認するためにインプットとアウトプットを活用していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和8年3月6日（16：35～17：02）

9. 人権・プライバシー

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	11人	0人	0人	12人

前回の改善計画	・利用者の心身の状態を考慮し、支援方法などをミーティングで共有しより良い支援に繋げる。 ・支援について職員同士が気兼ねなく意見が出せるよう、意見箱を用いて会議でも話し合いができる環境を整える。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者の変化に応じて細目にミーティングを行い共有し支援することができていた。 ・意見箱を活用し意見を出し合うことができていた。不適切な支援になっていないか自身の支援を振り返ることもできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	5	7	0	0	12
②	虐待は行われていない	3	9	0	0	12
③	プライバシーが守られている	0	12	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	11	0	0	12
⑤	適正な個人情報の管理ができています	0	12	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束や虐待についての研修や勉強会などで自身の支援を振り返り、意識しながら対応することができた。 ・居住環境の移行をした利用者に対し、他機関と連携し成年後見制度を活用することができた。 ・個人情報が書かれている記録や日誌などは、その都度片付けることを習慣化できた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・個人名を出して職員間で話をしており、個人情報が漏れてしまう可能性があると思う。 ・皮膚を掻くなどの生理的な反応に対して、どのように声掛けを行うべきかいつも迷ってしまう。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者の情報共有はイニシャルなどで、その時必要な事柄だけを簡潔に伝え合う。 ・生理的な反応に対して、不快感が少しでも改善できるような対応を考慮しミーティングにて共有した支援を行う。	